

104回国家試験(物理・理論)

問96 薬物の多くは生体膜上の受容体やチャネル等を介して作用する。それらの機能に大きく関与する生体膜の構造と脂質分子の運動に関する記述のうち、正しいのはどれか。2つ選べ。

- 1 生体膜は、リン脂質分子の極性頭部同士が向かい合わせとなった脂質二重層構造である。
- 2 生体膜中のコレステロールは、膜の流動性に影響を与えない。
- 3 生体膜中のリン脂質分子は、その長軸まわりに回転運動をしている。
- 4 生体膜中のリン脂質分子は、二重層の一方の層からもう一方の層に移動(フリップ・フロップ)できる。
- 5 生体膜中のリン脂質分子は、二重層の層内で移動することができない。

239回統一模擬試験Ⅲ(物理・理論)

問100 生体膜の立体構造に関する記述のうち、正しいのはどれか。2つ選べ。

- 1 生体膜を構成する脂質は、親水基どうしが向かい合った構造をとる。
- 2 生体膜の構成成分であるリン脂質どうしは、一般に共有結合によって連結されている。
- 3 膜内在性タンパク質として、Gタンパク質共役型受容体がある。
- 4 生体膜の流動性には、脂質のフリップ・フロップが関与する。

104回国家試験問題類似問題(薬ゼミ統一模擬試験)②



104回国家試験(衛生・必須)

問22 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法)で定める第一種特定化学物質はどれか。1つ選べ。

- 1 クロロホルム
- 2 四塩化炭素
- 3 **ポリ塩化ビフェニル**
- 4 2,3,7,8-テトラクロロジベンゾ-*p*-ジオキシン
- 5 スクラロース

238回統一模擬試験Ⅱ(衛生・必須)

問22 「化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法)」によって規制されている第一種特定化学物質はどれか。1つ選べ。

- 1 塩化トリフェニルスズ
- 2 **ポリ塩化ビフェニル**
- 3 トリクロロエチレン
- 4 2,3,7,8-四塩化ジベンゾフラン
- 5 2,3,7,8-四塩化ジベンゾ-*p*-ジオキシン

104回国家試験問題類似問題(薬ゼミ統一模擬試験)③



104回国家試験(薬剤・必須)

問42 一次性能動輸送担体はどれか。1つ選べ。

- 1 グルコーストランスポーターGLUT1
- 2 P-糖タンパク質MDR1
- 3 有機アニオントランスポーターOAT1
- 4 H⁺/ペプチド共輸送体PEPT1
- 5 Na⁺/グルコース共輸送体SGLT2

238回統一模擬試験Ⅱ(薬剤・必須)

問41 物質を輸送する一次性能動輸送担体はどれか。1つ選べ。

- 1 PEPT1 (peptide transporter 1)
- 2 OAT1 (organic anion transporter 1)
- 3 P-糖タンパク質
- 4 MATE1 (multidrug and toxin extrusion 1)
- 5 Na⁺/H⁺交換輸送体

104回国家試験(病態・薬物治療・理論)

問184 副鼻腔炎の病態及び治療に関する記述のうち、正しいのはどれか。2つ選べ。

- 1 急性副鼻腔炎は、上気道炎に続いて起こることが多い。
- 2 急性副鼻腔炎の起病菌は、黄色ブドウ球菌が最も多い。
- 3 慢性副鼻腔炎は、急性副鼻腔炎の症状が遷延して3週間以上続く状態をいう。
- 4 慢性副鼻腔炎の症状として、嗅覚障害、頬部痛及び頭痛がある。
- 5 慢性副鼻腔炎の治療として、ニューキノロン系抗菌薬の少量長期投与が有効である。

237回統一模擬試験 I (病態・薬物治療・理論)

問188 副鼻腔炎に関する記述のうち、正しいのはどれか。2つ選べ。

- 1 急性副鼻腔炎は、急性上気道炎に続発することが多い。
- 2 急性副鼻腔炎の起病菌として、緑膿菌や黄色ブドウ球菌の感染が多い。
- 3 蝶形骨洞に好発する。
- 4 慢性副鼻腔炎の場合、マクロライド系抗菌薬の少量長期投与が用いられる。
- 5 好酸球性副鼻腔炎は、副腎皮質ステロイド性薬の点鼻のみで症状が消失することが多い。